



各 位

2026 年 8 月 14 日

会 社 名 株式会社モンスターラボ
代表者名 代表取締役社長 鮎川 宏樹
(コード：5255、グロース市場)
問合せ先 財務 I R 責任者 臼井 辰朗
(T E L . 03-4455-7243)

2026 年 12 月期通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2026 年 2 月 27 日に公表した 2026 年 12 月期（2026 年 1 月 1 日～2026 年 12 月 31 日）の通期業績予想につきまして、最近の業績動向等を踏まえ、下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 2026 年 12 月期通期業績予想の修正（2026 年 1 月 1 日～2026 年 12 月 31 日）

(単位：百万円)

	売上収益	営業利益	税引前利益	親会社の所有者に帰属する当期利益	基本的 1 株当たり当期利益
前回発表予想 (A) (2026 年 2 月 27 日 公表)	8,500	500	—	—	—
今回修正予想 (B)	8,000	220	—	—	—
増減額 (B-A)	△500	△280	—	—	—
増減率 (%)	△5.9	△56.0	—	—	—
(参考) 前期実績 (2025 年 12 月期)	7,795	△187	△319	△337	△7.48 円

(注) 税引前利益及び親会社の所有者に帰属する当期利益につきましては、外貨建資産の期末評価による影響により合理的な見積りが困難であることから、引き続き公表を差し控えております。

2. 修正の理由

当社グループは、APAC において、従来の主力領域である「プロダクト開発」から、新たな注力分野である「AI エージェント開発」及び「モダナイゼーション」への移行を進めております。当該領域における受注の積み上がりは継続しているものの、期初に想定していたよりも緩やかな伸びとなっており、当該移行に一定の時間を要しております。このため、下期の売上及び利益計画を保守的に見直し、通期の業績予想を上記のとおり修正いたします。

売上収益

上記の遅れと合わせ、プロダクト開発領域において複数の大型案件のプロジェクトライフタイムの終了が重なり、これらを補うに至らなかったことから、下期の売上計画を見直

しました。この結果、通期の売上収益は前回発表予想を 500 百万円下回る 8,000 百万円となる見込みです。なお、前期実績（7,795 百万円）に対しては増収を確保する見込みです。

営業利益

売上収益の減少に伴う売上総利益の減少が営業利益に概ね直接的に影響することから、通期の営業利益は前回発表予想を 280 百万円下回る 220 百万円となる見込みです。なお、修正後の予想においても営業利益は黒字を確保する見込みです。

国内のエンタープライズ領域におけるモダナイゼーション案件及び米州（AMER）地域は順調に推移しており、下期以降の業績の改善・回復に向けて取り組んでまいります。

（注）本業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づくものであり、実際の業績は今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

以 上